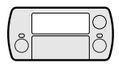
T721Z030H02〈2006-09〉

MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機用

形　名	形名コード
RMC-HP4BD	66C322
RMC-HP4KD	66C323
RMC-HP4KZ	66C324
RMC-HP4	66C325

台所リモコン	浴室リモコン	サブリモコン	給湯専用リモコン
形名 RMC-HP4KD	形名 RMC-HP4BD	形名 RMC-HP4KZ	形名 RMC-HP4
			

●リモコンは、三菱ヒートポンプ式電気給湯機専用です。
●リモコンを使用しないと給湯機のわき上げが行なえません。

工事説明書

※適用機種は、当社カタログ・据付工事説明書等に記載してあります。

1.台所リモコン、給湯専用リモコン取付工事

付属品

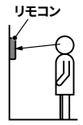
木ねじ	Mねじ	オールプラグ	Y型端子
2個	2個	2個	2個

【お願い】
●リモコン本体を分解しないでください。
●リモコンケーブルは、三菱純正別売部品（形名：LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
●リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上に置かないでください。
スピーカー部（左上）に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

取付場所の選定

●リモコンは必ず屋内の平らな面に取付けてください。（凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。）
●取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）を選んでください。
●リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取り付けないでください。

●ガステーブルの近くなど高温（50℃以上）になるところ
●浴室など湿気の多いところ
●直射日光のあたるところ
●湯気や水しぶきや油のかかるところ
●幼児の手が届くところ

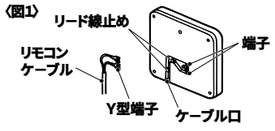


●リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所としてください。

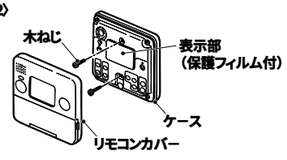
壁面に取り付ける場合（露出配線）

(1) 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。〈図1〉
(2) リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めに止める。〈図1〉
〈参考〉Y型端子用手動式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製　YHT-2210（JIS 9711規格品）
【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
(3) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
(4) リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。〈図2〉
壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2箇所）をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
(5) 表示部の保護フィルムをはずす。
(6) リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して配線する。〈図2〉

〈図1〉



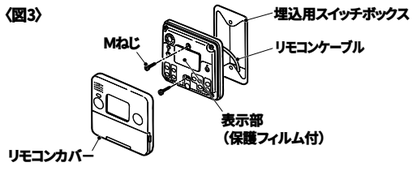
〈図2〉



リモコンケーブルを壁中に通す場合（埋込配線）

●リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス（1個用）を取付けておきます。
●リモコンケーブルを電線管に通し、貯湯タンクユニットまで配線しておきます。
(1) 埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。〈図1〉
【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
(2) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
(3) リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。〈図3〉
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
(4) 表示部の保護フィルムをはずす。
(5) リモコンカバーをケースにはめる。

〈図3〉



【お願い】
●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。

2.浴室リモコン取付工事

付属品

木ねじ	オールプラグ	取付パイプ（太）	取付パイプ（細）	カバー	パッキン※
4個	2個	1個	1個	1個	1個

※パッキンは、リモコンに付いています。仮取付けできるよう両面テープになっています。

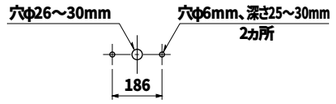
【お願い】●リモコン本体を分解しないでください。
●リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカー部（左上）に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

取付場所の選定

●浴室リモコンは必ず平らな面に取付けてください。（凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。）
●取付位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところを選んでください。
●浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取付けてください。
●リモコン線の長さが50m以内になる場所としてください。
●カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合（壁貫通）

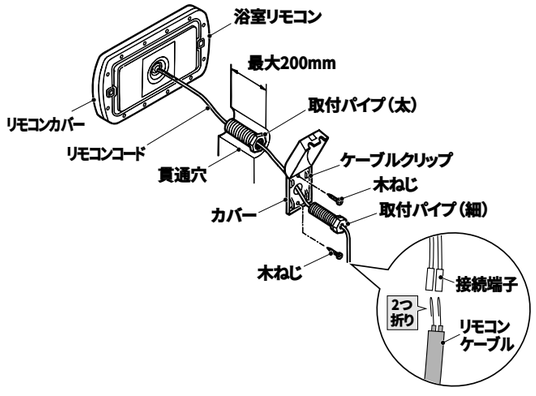
●壁厚200mmまで取付け可能です。
●壁に貫通穴（φ26～30mm）、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2ヵ所）をあけ、オールプラグを打ち込みます。



(1) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
(2) 取付パイプ（太）を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンコードを通してリモコンにねじ込む。
(3) 木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンコードをカバー、取付パイプ（細）に通して、取付パイプ（細）をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
(4) リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着する。

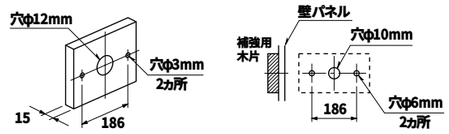
引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

〈参考〉接続端子用手動式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製　YNT-2216
【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
(5) 接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップにリモコンケーブルを巻付けてカバーのふたをする。
(6) 表示部の保護フィルムをはずす。
(7) リモコンカバーを取付ける。



ユニットバスに取付ける場合（壁内配線）

●取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
●室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
●壁にリモコンコード用穴（φ10mm）と、リモコン取付け用穴（φ6mm）をあけます。
●壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。（木片にリモコンコード用穴（φ12mm）とリモコン取付け用穴（φ3mm、2ヵ所）をあけます。）
●補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
●木片は現地で用意してください。

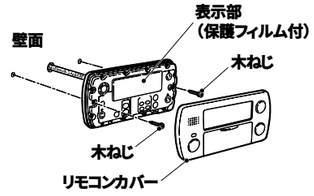


補強用木片参考寸法図

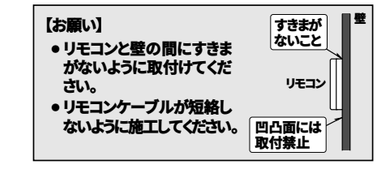
(1) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
(2) リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。

引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
(3) 表示部の保護フィルムをはずす。
(4) リモコンカバーを取付ける。



【お願い】
●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。



3.サブリモコン工事

付属品

木ねじ	Mねじ	オールプラグ	Y型端子	中継ケーブル	ケーブル押え	タッピングねじ
2個	2個	2個	2個	2本	1個	1個

【お願い】●リモコン本体を分解しないでください。
●リモコンケーブルは、三菱純正別売部品（形名:LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
●本体に接続できるサブリモコンは1台です。
●サブリモコンの単一使用はできません。

取付場所の選定

●サブリモコンは必ず屋内の平らな面に取付けてください。（凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。）
●取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）を選んでください。
●サブリモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取り付けないでください。

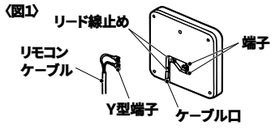
●ガステーブルの近くなど高温（50°C以上）になるところ
●浴室など湿気の多いところ
●直射日光のあたるところ
●湯気や水しぶきや油のかかるところ
●幼児の手が届くところ

●リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所としてください。

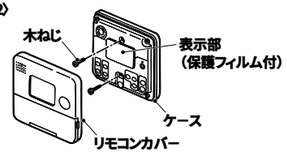
壁面に取り付ける場合（露出配線）

（1）下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。〈図1〉
（2）リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めに止める。〈図1〉
〈参考〉Y型端子用手動式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製　YHT-2210（JIS 9711規格品）
【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
（3）マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
（4）リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。〈図2〉
壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2箇所）をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
（5）表示部の保護フィルムをはずす。
（6）リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して配線する。〈図2〉

〈図1〉



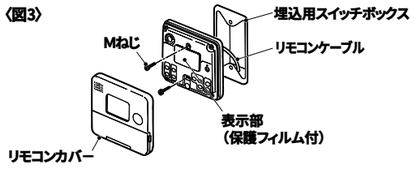
〈図2〉



リモコンケーブルを壁中に通す場合（埋込配線）

●リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス（1個用）を取付けておきます。
●リモコンケーブルを電線管に通し、貯湯タンクユニットまで配線しておきます。
（1）埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。〈図1〉
【お願い】●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
（2）マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
（3）リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。〈図3〉
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
（4）表示部の保護フィルムをはずす。
（5）リモコンカバーをケースにはめる。

〈図3〉



【お願い】
●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
●リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。

4.リモコンケーブルと貯湯タンクユニットの接続工事

●台所リモコン、浴室リモコン、サブリモコンの端子はどちらも無極性です。

サブリモコンを使用しない場合

（1）前面カバーを外す。
（2）各リモコンから貯湯タンクユニットまでのリモコン線を、PF管（φ16）に通す。
（3）リモコンケーブル口から各リモコン線を通し、リモコン線の芯線をリモコン接続端子に圧着する。〈図1〉

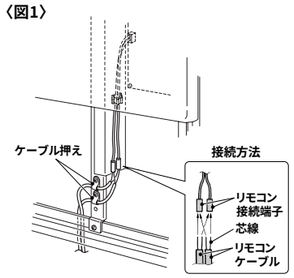
引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

〈参考〉接続端子用手動式圧着工具:日本圧着端子製造株式会社製　YNT-2216

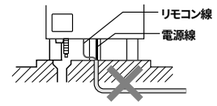
（4）ケーブル押えでリモコン線を固定する。

【お願い】
●リモコン線どうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
●リモコン線は電源線と離して（約5cm）配線してください。
近いとノイズによる誤動作の原因になります。
●リモコン線は、引っ張っても端子に直接張力がかからないようにケーブル押えで確実に固定してください。
●電源線とリモコン線を同一パイプ内で配線しないでください。
リモコンが誤動作する場合があります。〈図2〉
●リモコン線を接続端子に接続するときは、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。
●リモコン線は、本体内部の横桟の内側を通してください。

〈図1〉

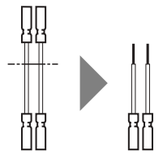


〈図2〉

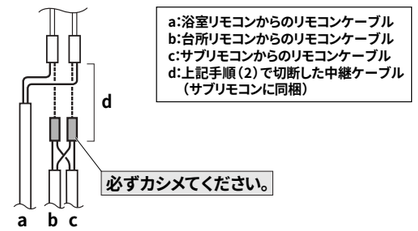


サブリモコンを使用する場合

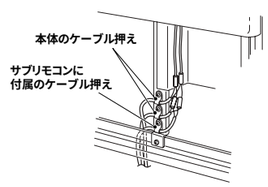
〈サブリモコンを最初から使用する場合〉
（1）前面カバーを外す。
（2）サブリモコンに付属の中継ケーブルを途中で切断する。



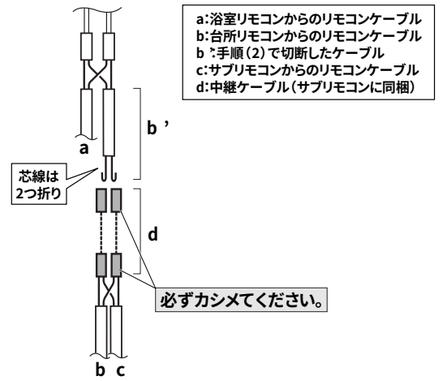
（3）下図に従って接続する。



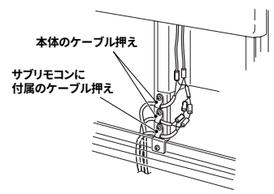
（4）本体のケーブル押えとサブリモコンに付属のケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。



〈サブリモコンを後から使用する場合〉
（1）前面カバーを外す。
（2）接続されている台所リモコンのリモコンケーブルを途中で切断する。
（3）下図に従って接続する。



（4）本体のケーブル押えとサブリモコンに付属のケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。



三菱電機株式会社
群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800
電話番号　0276-52-1111（代表）